

2019年9月仮決算から

訂正前

(P.18)

7. 自己資本の構成(単体)

(単位:百万円)

項目	平成30年9月末	経過措置による不買入額	令和1年9月末	経過措置による不買入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	36,691		39,035	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,142		1,152	
うち、利益剰余金の額	35,548		37,882	
うち、外部流出予定額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	653		880	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	653		880	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	37,344		39,915	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	158	-	88	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	158	-	88	-
前払年金費用の額	283	-	307	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	442		395	
自己資本				
自己資本の額(イ)-(ロ)=(ハ)	36,902		39,520	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	346,788		358,462	
資産(オン・バランス)項目	345,947		347,832	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 3,677		△ 3,677	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 3,677		△ 3,677	
オフ・バランス取引等項目	665		10,193	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	174		436	
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	14,485		15,382	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	361,273		373,844	
自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.21%		10.57%	

(注)

- 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出を行なっています。なお、「(にっしん)」は国内基準を採用しています。
- オペレーショナル・リスクは基礎的手法を採用しています。

お詫び

平成30年9月期の自己資本比率及びリスク・アセットに計算相違がありましたので、一部訂正させていただいております。

●オペレーショナル・リスク「基礎的手法」の算出方法

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

8. 不良債権の状況

金融再生法開示債権残高

(単位:百万円)

区分	平成30年9月末(A)	令和1年9月末(A)	前年同期比
	債権額	債権額	前年同期比
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2,830	2,630	△ 200
危険債権	14,723	14,217	△ 506
要管理債権	1,146	1,620	474
不良債権合計	18,701	18,468	△ 233
正常債権	323,392	325,973	2,581
合計	342,093	344,441	2,348
不良債権比率	5.467%	5.362%	△ 0.105%

保全状況(令和1年9月末)

(単位:百万円)

区分	担保・保証額(B)	担保・保証のない部分(C)=(A)-(B)	引当額(D)	(C)に対する引当率(D)/(C)	保全額(E)=(B)+(D)	保全率(E)/(A)
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,268	1,362	1,362	100.00%	2,630	100.00%
危険債権	9,240	4,976	3,733	75.02%	12,974	91.26%
要管理債権	947	672	256	38.10%	1,204	74.32%
不良債権合計	11,456	7,011	5,352	76.34%	16,808	91.01%

■ 本誌では、単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。
■ 本誌に掲載している計数については、会計監査人による監査を受けていません。

訂正後

(P.18)

7. 自己資本の構成(単体)

(単位:百万円)

項目	平成30年9月末	経過措置による不買入額	令和1年9月末	経過措置による不買入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	36,691		39,035	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,142		1,152	
うち、利益剰余金の額	35,548		37,882	
うち、外部流出予定額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	653		880	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	653		880	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	37,344		39,915	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	158	-	88	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	158	-	88	-
前払年金費用の額	283	-	307	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	442		395	
自己資本				
自己資本の額(イ)-(ロ)=(ハ)	36,902		39,520	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	346,788		358,462	
資産(オン・バランス)項目	345,947		347,832	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 3,677		△ 3,677	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 3,677		△ 3,677	
オフ・バランス取引等項目	665		10,198	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	174		436	
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	14,485		15,382	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	361,273		373,850	
自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.21%		10.57%	

(注)

- 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出を行なっています。なお、「(にっしん)」は国内基準を採用しています。
- オペレーショナル・リスクは基礎的手法を採用しています。

お詫び

平成30年9月期の自己資本比率及び平成30年9月期と令和1年9月期のリスク・アセットに計算相違がありましたので一部訂正させていただいております。

●オペレーショナル・リスク「基礎的手法」の算出方法

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

8. 不良債権の状況

金融再生法開示債権残高

(単位:百万円)

区分	平成30年9月末(A)	令和1年9月末(A)	前年同期比
	債権額	債権額	前年同期比
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2,830	2,630	△ 200
危険債権	14,723	14,217	△ 506
要管理債権	1,146	1,620	474
不良債権合計	18,701	18,468	△ 233
正常債権	323,392	325,973	2,581
合計	342,093	344,441	2,348
不良債権比率	5.467%	5.362%	△ 0.105%

保全状況(令和1年9月末)

(単位:百万円)

区分	担保・保証額(B)	担保・保証のない部分(C)=(A)-(B)	引当額(D)	(C)に対する引当率(D)/(C)	保全額(E)=(B)+(D)	保全率(E)/(A)
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,268	1,362	1,362	100.00%	2,630	100.00%
危険債権	9,240	4,976	3,733	75.02%	12,974	91.26%
要管理債権	947	672	256	38.10%	1,204	74.32%
不良債権合計	11,456	7,011	5,352	76.34%	16,808	91.01%

■ 本誌では、単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。
■ 本誌に掲載している計数については、会計監査人による監査を受けていません。